



### ①御曹子塚跡(おんぞうしづかあと)

明治末期発掘された時は約900年前の古銭も出たようだ。現在は石積みがあるだけだが、この石を小石でたたくとカンカンと音がするので通称「カンカン石」と言われている。



### ②水車小屋跡(すいしゃごやあと)

昔はあちこちに水車があったようだが、現在残っている水車はここだけ(近隣の観光農園に一つ移設)。外観は古くなっているが今でも当時の様子を保っている。



### ③道標(どうひょう)

この地区には道者街道(金鈴山と富士山を結ぶ参拝の道者が歩いた道)が通っていた。旧本道りとしてにぎわっていたことだろう。蔵の並ぶ雰囲気のある散策コースでもある。



### ④宮堰分水地(みやせきぶんすいち)

古名は塩田川(甲斐国史による)。金川の水を6(金川へ戻す):4(用水へ)引き入れ、11地区への用水として活用する為に作られ、現在でも水利権を持つ地域で管理されている。



### ⑤水守り地蔵(みずまもりじぞう)

宮堰の傍らに立っていつまでもこの地に平和に水が流れることを祈る地蔵であったのだろうか…。現在道路拡張にともない少し移動させたという。



### ⑥花見街道(はなみかいどう)

山脇に沿って続く道は眼下に桃畑が広がるのどかな道。春には一面ピンクになり、この絶景を絵に、写真にと多くの人が訪れる。



### ⑦秋葉山・道祖神(あきばさん・どうそじん)

秋葉山・道祖神・石尊山が一ヶ所に集められている。小正月には家内安全・五穀豊穡を祈り盛大にどんど焼きが行われる。



### ⑧高札場の跡(こうさつばのあと)

高札場があったと言われているが、現在では何も残っていない。一本の柿の木があるだけ。高札という情報伝達について後世に伝える場として残したい。



### ⑨神明社(しんめいしゃ)

入口は狭く地味だが、奥にある6本の大ケヤキは市指定の天然記念物である。また天照大神・観音堂以外に末社5社も祀っている。



### ⑩宝福寺(ほうふくじ)

曹洞宗 広蔵院末寺。元禄年間からの寺。古い「村誌」には建立の経緯が詳細に記載。本尊は釈迦如来。寺の名が縁起が良いのでくじなどが当たるかも…。

発行：一宮町を考える会

作成者：水庭喜美子



石尊・道祖神・道標



## 市之蔵 いちのくら

地区名通り「蔵」の多い所である。宮堰(用水)に近いこともあり、どこにいても耳をすませば水音が聞こえてくる地区である。

④ 宮堰

至御坂

金川